

コリント人への手紙第一 15 章 35～49 節 キリストによる新しいからだ

イエス・キリストが再臨する時、信仰者は墓から肉体的に復活する。コリント人への手紙第一 15 章の中で、パウロはこのことを擁護しています。信仰者が復活するという約束は、イエス・キリストの肉体が復活したという真実に、完全に基づいています。キリストの復活、ひいては、わたしたちの復活が偽りだったとするならば、わたしたちは何を失うことになるのか、パウロは 15 章においてすべて説明し、読者を納得させたはずです。今日、パウロは復活に懐疑的な者からあがるであろう質問を想定し、最後の質問として語ります。35 節から 49 節です。パウロは、この最後の質問に対する回答として、15 章 55 節から 57 節の "死は勝利に呑み込まれた" という輝かしい結末につなげます。55 「死よ、おまえの勝利はどこにあるのか。死よ、おまえのとげはどこにあるのか。」 56 死のとげは罪であり、罪の力は律法です。57 しかし、神に感謝します。神は、私たちの主イエス・キリストによって、私たちに勝利を与えてくださいました。35 節において、パウロはこの最後の質問を取り上げます。35 しかし、「死者はどのようにしてよみがえるのか。どのようなからだで来るのか」と言う人がいるでしょう。

おそらく、コリントの人たちが実際にこんな質問を彼に投げかけたわけではありません。むしろ、パウロはこのような質問が出ることを予期していたのではないか。ここで、わたしたちが理解すべきことがあります。彼は、死者の復活を真摯に理解しようなどとは思わない者からの質問を想定していることです。つまり、死者の復活について彼と意見が合わない者たち、復活はあるという信念を共有できない者たちから投げかけられるであろう質問なのです。もちろん、復活に懐疑的な者の質問には前提があります。わたしたちの体は時間が経てば自然に腐敗してただの土に戻るという事実がある、ということです。遺骨が散乱してしまうことも少なくありません。そんな風に朽ちてしまった体が 10 年後、100 年後、あるいは数千年後に元に戻る。そんなことは人間の脳で理解することはできません。初めから復活を信じない者からの陰険な質問に対して、パウロは、その復活の体から期待できることについて回答します。

36 節の冒頭、パウロは彼らに向かって "愚かな人だ。" と言っています。わたしたちは、彼の回答をとおして、復活懐疑論者の質問に込められた偽善さをパウロがどのように理解しているのかが分かります。この冒頭の言葉は、詩篇 14 篇 1 節で使われている言葉と同じです。1 愚か者は心の中で「神はいない」と言う。彼らは腐っていて忌まわしいことを行う。善を行う者はいない。実際、パウロはローマ人への手紙 3 章の中でも詩篇 14 篇を引用しています。彼にとって、旧約聖書を引用して手紙を書くことは、ごく自然な事です。つまり、パウロは 36 節で旧約聖書、特に詩篇や箴言にあるメッセージを思い起こさせようとします。「愚か者とは、精神的、道徳的判断力を持たない者であり、そのために愚かな決断を下す」と言いたいのです。霊的な理解力を持たない人はおろかな決断をします。つまり、復活を信じません。

しかしパウロはこれで終わりません。彼は、わたしたちの現在の体について説明します。次に復活した体で何が期待できるのかを説明します。このようにして陰険な質問に回答します。36 節から 37 節で、彼はわたしたちの現在の体について述べます。36 愚かな人だ。あなたが蒔くものは、死ななければ生かされません。37 また、あなたが蒔くものは、後にできるからだではなく、麦であれ、そのほかの穀物であれ、ただの種粒です。ちょっと意外なのは、わたしたちの体についての表現の仕方です。パウロはわたしたちの体を種に例えています。彼にとって、本当の人生とは死後に始まるものである。このように理解すれば、わたしたちの体を種に例える意味が納得できます。つまり、わたしたちの体はすべて、わたしたちが死んだ後、本当の人生をスタートさせるために蒔かねばならない種のようなもの、ということです。その種に命はあるのでしょうか？はい、もちろんあります。しかし、成長した果実をつける植物になるまでの命に比べれば、その命はちっぽけなものです。

誰か、パウロが想定した質問をする者がいるならば、彼らの質問は質問として妥当ではありません。彼らは、初めから復活はないと信じていて、自分たちの命が自分に与えられた唯一の命であ

るのだ、と思い込んでいるのです。それはつまり、この肉体が朽ち果てたならば、その存在は終わりを迎えたのだ、ということです。物理的に考えたら、肉体が朽ちていくことは真実でしょう。しかし、死後の永遠という観点から考えれば、永遠というバケツの中では、80年、90年、100年の地上生涯など、ほんの一滴に過ぎません。埋葬、火葬、癌、心臓病、老衰。いつか、肉体は終わりを迎えます。しかし神から見れば、この終わりの瞬間から、わたしたちは、完全な肉体で存在するための次のステージに入ります。次のステージになると、地上でどんなに素晴らしく最高の経験をしてきたとしても、それよりもはるかに素晴らしいものに満ちた世界に、わたしたちは入っていくのです。その理由は、神が未来の体を持っているからです。その未来の体が、わたしたち自身が望んだり想像したりすることをはるかに超えたことを経験させてくれるからなのです。

未来の体について、まず見えてくることは、わたしたちが未来の体を受ける選択をしたのではなく、神がわたしたちに未来の体を与えることを選択した、ということです。それは、とても良いことなのです。38節を見てください。38 **しかし神は、みこころのままに、それにからだを与え、それぞれの種にそれ自身のからだをお与えになります。**わたしたちが地上に誕生してから死ぬまで、さらにその先にある、あらゆる領域に至るまで、神の主権、神の完全なる権威が及んでいます。天国で永遠に生きるならば、23歳当時の体で生きたい、とわたしは思っています。当時、わたしは懸垂がたくさんできたし、5キロを20分前後で走れたし、海兵隊の制服がとても似合っていた、とわたしは思っています。ただ、わたしが考える完璧な体とは、こんな程度です。わたしたちがどんなに完璧な体、永遠に生きる完璧な存在、というものを想像してみたところで、神が、わたしたちのすべてをご存じなのです。神が、わたしたちが永遠に神に栄光をもたらすように生きることを計画しているのです。わたしたちは神にはかないません。これが真実です。ルカの福音書12章7節は言います。7 **それどころか、あなたがたの髪の毛さえも、すべて数えられています。恐れることはありません。あなたがたは、多くの雀よりも価値があるのです。**わたしがこんな体になりたいと選択するよりも、創造主がわたしの永遠の体を設計して下さる方が、わたしには望ましいです。なぜなら、創造主はわたしの頭髪の本数が刻々と変化することまで知っている訳ですから。無条件的選びや予定説として知られる神の絶対的な選びは、多くの人々にとって悪です。少なくとも、愛に満ちた神に帰する概念としては間違っています。しかし、神がわたしたちを救いに導くために選んで下さらなければ、わたしたちは皆、罪のために神の真っ当な裁きを受け、地獄に直面してしまいます。神は、ペテロの手紙第二3章9節の中で言っています。9 **...だれも滅びることがなく、すべての人が悔い改めに進むことを望んでおられるのです。**神は、わたしたちを罪から救うために、ご自分のものとなる者を選んでおられたのです。ローマ人への手紙8章29節には、「29 **神は、あらかじめ知っている人たちを、御子のかたちと同じ姿にあらかじめ定められたのです。それは、多くの兄弟たちの中で御子が長子となるためです。**」とあります。神の絶対的な選びにおける恵みの物語が、驚くべき物語たる所以は、絶対に誰一人として神の救いに値しない、ということなのです。ローマ人への手紙3章23節にあるように、わたしたちは「23 **すべての人は罪を犯して、神の栄光を受けることができず、**」なのです。神に栄光を与えることを選ぼうとしてもできないのです。しかし、神がお選びになった者には、イエス・キリストが神の怒りの対象である彼らの身代わりとなって、十字架上で死んでくださり、無償で救いの賜物を与えられます。これが神の恵みです。わたしたちは、神の主権に反論するのではなく、神がわたしたちを救うために選んでくださったことに感謝して生きるべきなのです。そして、このメッセージを周りの人たちにも伝えて、神が彼らをお選びになったのだから、彼らに信仰と悔い改めを与えて下さるように祈るべきです。コリント人への手紙第一のこの箇所、パウロは、神の選びはわたしたちの復活した体にまでも及ぶのだ、と教えています。

彼は、復活した体がどのようなものなのかを更に知るために、ヒントを与えてくれます。パウロは**"それぞれの種にそれ自身のからだを"**と言っています。わたしたちの未来の体は、わたしたちの現在の肉体とある意味で似ていること、おそらく外見が似ていることを、この聖句は示唆しています。そのことが将来のわたしたちの体にとってどのような意味を持つにせよ、似ているかも

しれないけれども、違うものになるということなのでしょう。39 節から 40 節を読んでください。39 **どんな肉も同じではなく、人間の肉、獣の肉、鳥の肉、魚の肉、それぞれ違います。** 40 **また、天上のからだもあり、地上のからだもあり、天上のからだの輝きと地上のからだの輝きは異なり、**つまり、永遠の中に生きるわたしたちがどのようなものであれ、その様相は、この地上生活で蒔かれた種に基づくものである。その一方で、永遠と地上には大きな相違点もある。これは明らかです。さて、パウロは地上と永遠との違いをすべて推測しようとはしません。パウロは、わたしたちは身の回りの世界にいる生き物は互いに違いを持っていることを知っている、と指摘しているに過ぎません。動物には血と肉があります。しかし動物と人間とは違います。魚と鳥は骨格が似ています。しかし魚は鳥ではありません。ですから、天国で復活するわたしたちの体は、地上の体と似ているところもあるかもしれません。しかし、現在この地上で神の似姿として神の栄光を反映しているのとは異なる方法で、わたしたちは神の栄光を反映することになるのです。

しかし、地上の体も復活の体も、どちらも同じ創造主から生まれたものです。どちらの体にも、同じように、神の栄光があるのです。次が、わたしたちの将来の体に関するパウロの最後の指摘です。41 節には、「**41 太陽の輝き、月の輝き、星の輝き、それぞれ違います。星と星の間でも輝きが違います。**」とあります。わたしたちが太陽、月、星のことを考える時、天体に、ある種の美しさや栄光を受けとめていることは確かです。太陽は、暖かさと光を与えてくれます。これらは植物の生命を維持するために必要であり、その結果、人間が生活できる環境が整います。つまり、太陽はわたしたちの生活にも必要なものなのです。月は夜空を照らします。その理由は、自転する地球の周りを月が回っていて、地球と異なる位置から、太陽光を地球に向けて反射しているからです。こちらからは月を照らす太陽光はどこにも見えません。でも、月は輝いて満ち欠けや色彩の美しさを示しています。星々は、太陽と同じように、澄んだ夜空に、また違った美しさと輝きを放ちます。わたしたちの小さな地球から何百万光年も離れたところからやってくるこの億の光の点から、わたしたちは宇宙の広大さを知ることができるのです。

38 節が指摘するように、栄光はわたしたちからではなく、わたしたちに地上の体と復活の体を与えてくださった創造主からもたらされものです。創世記 1 章 27 節には、「**27 神は人をご自身のかたちとして創造された。神のかたちとして人を創造し、男と女に彼らを創造された。**」とあります。わたしたちはこの地上で神の似姿の持ち主です。だから不完全であっても、この体は創造主の栄光を映し出しています。そんなわたしたちが、新天新地において、復活した体を持ち、罪の汚れのない神の似姿を映し出すとき、その栄光がどれほどのものであるのか、想像してみてください！わたしたちを待ち受けているものをじっくりと黙想すること、この、神の似姿と栄光を完全に映し出すというビジョンを思い描くこと、それらは希望となります。この希望によって、わたしたちは現在この地上の肉体で経験している苦痛を乗り越えていけるはず。エレミヤ書 29 章は、わたしたちを支えるこの**未来の希望**について語っています。エレミヤ書 29 章 11 節にはこう書かれています、**11 わたし自身、あなたがたのために立てている計画をよく知っている——主のことば——。それはわざわざではなく平安を与える計画であり、あなたがたに将来と希望を与えるためのものだ。**この 11 節は、自分の土地家屋から強制的に追い出され、外国に連れて行かれたユダヤ人の流浪民に対して書かれています。神はこの流浪民、服従させられ、奴隷とさえなった人々に対して未来と希望を約束しています。神がご自分の民に対して持ち続けている姿勢は、今日でも変わらないのです。この世に対して、わたしたちはよそ者、外国人である。神はこのことを教えてくれます。ペテロの手紙第一 2 章 11 節には、**次のように書かれています。11 愛する者たち、私は勧めます。あなたがたは旅人、寄留者なのですから、たましいに戦いを挑む肉の欲を避けなさい。**わたしたちは将来復活する。この約束は、神が旧約聖書の中でイスラエルの人々に約束した未来と希望と同じなのです。そう、わたしたちは地上の寄留者です。わたしたちは、痛みや苦しみ、肉体的な弱さをもたらすこの世界に一時的に暮らす住人です。しかし、わたしたちには復活があるから希望があるのです。

パウロはまず、完全なる希望があることを伝えています。42 節から 43 節を読んでみましょう。**42 死者の復活もこれと同じです。朽ちるもので蒔かれ、朽ちないものによみがえらされ、43 卑しいもので蒔かれ、栄光あるものによみがえらされ、弱いもので蒔かれ、力あるものによみがえらされ、**わたしたちの人生の特徴は、不完全なもの同士で組み立てられていることです。地上世界の自然な流れとして、いずれ、世界は消耗していくことになり、わたしたちの体もそのように消耗していきます。だから、わたしたちは健康を保つことができるように、フィットネスを日課としたり、日常生活のどこかに運動を組み込んでいたりします。また、わたしたちは健康診断を行い、健康上の問題が大きくなる前に発見できるよう、常に疾病予防に気を配っています。わたしたちは、病気から身を守るために、予防接種をできる限り受けます。わたしたちは、人生のさまざまな段階で、老化を感じています。わたしたちは、この体が消耗していることを知っているのです。しかし、キリストに従う者にはより良い人生が待っている。こんな希望が、わたしたちには与えられています。神様が、わたしたちに、もっと素晴らしい体を与えてくださるので、その体は消耗することはありません。その体は滅びません。その体は、神の栄光をすべて完璧に現します。そして、現在経験している弱さはなくなってしまいます。

しかし、この体は、単に肉体的に完璧な体ではなく、靈的に完璧な体でもあります。わたしたちは全員、生まれながらの罪人として今を生きています。イエス・キリストを受け入れた後であっても、罪の誘惑と闘わなければなりません。その靈的な闘いについて、聖霊がわたしたちを強くしてくれていることは、事実ではあります。しかし、もし、闘いというものが、なかったらどうでしょう？もし、罪の性質というものが、なかったらどうでしょう？正しいことをおこなう、神を敬う、そこに葛藤がないとしたらどうでしょうか？それが、わたしたちの復活した体の約束なのです。44 節には、「**44 血肉のからだで蒔かれ、御霊に属するからだによみがえらされるのです。血肉のからだがあるのですから、御霊のからだもあるのです。**」とあります。靈的に完成する。この約束は、イエス・キリストによってのみ可能なのです。45 節から 47 節を続けて読みましょう。**45 こう書かれています。「最初の人アダムは生きるものとなった。」**しかし、最後のアダムはいのちを与える御霊となりました。**46 最初にあったのは、御霊のものではなく血肉のもので、御霊のものは後に来るのです。47 第一の人は地から出て、土で造られた人ですが、第二の人は天から出た方です。**古い賛美歌を引用すると、"わが身の望みはただ主にかかれり 主イエスの外には依(よ)るべき方なし"ということです。最初の間であるアダムが罪を犯したことによって、わたしたちは罪の性質を受け継ぎました。最後のアダムであり、神の御前で人類を代表したイエス様によって、わたしたちは永遠の命を受け継ぐことができるのです。アダムが神の御前で正しくなかったことから、その影響は、わたしたち全員に及びました。しかし、イエス・キリストは失敗のない完全な聖性の中で生き、アダムの子やわたしたちすべての罪に対する刑罰を、自ら引き受けて下さいました。イエス様への信仰によって、わたしたちは永遠の命の望みを持つことができるようになりました。イエス様の完璧な靈的な命は、まさに生きる力を与える霊でした。

わたしたちの将来の希望、復活の体は、イエス様の復活の体の中に具体的に示されています。今日の聖書箇所を終えるにあたり、48 節から 49 節を読んでみましょう。**48 土で造られた者たちはみな、この土で造られた人に似ており、天に属する者たちはみな、この天に属する方に似ています。49 私たちは、土で造られた人のかたちを持っていたように、天に属する方のかたちも持つことになるのです。**わたしたちが復活の時にどのような体を持つのか。パウロは、先の陰険な質問に答えています。その質問に対して答えは簡潔です-イエスが復活の時に持っていた種類の体です。今のわたしたちは、先祖アダムと同じように、この体は塵にかえり、弱り続けていきます。いつか、わたしたちは、復活した後にイエス・キリストが享受している永遠の完全な体になって、この体を享受することができるのです。あなたはイエス・キリストを信じています。それならば、あなたには神の栄光を受ける完全な体が待っています。あなたにはこんな希望とビジョンがあるのです。だから、この地上で、塵にかえる体として生きていても、この希望とビジョンをあなたの支えにしてください。わたしたちの主イエス・キリストのように、朽ちることなく、

破壊されることもなく、栄光と力を持ち、完全に霊的な体。神は、こんな体を用意してあなたを待っておられます。祈りましょう。

1 Corinthians 15:35-49 A New Body

In 1 Corinthians 15, Paul has defended the bodily resurrection of believers from the grave at the return of Jesus Christ. That promise of resurrection is based completely on the truth of the bodily resurrection of Jesus Christ. And while his explanation in this chapter of everything that we lose if Christ's resurrection and therefore our resurrection is false should have convinced his readers, he anticipates one final question that could be raised by the skeptics in our passage for today, 1 Corinthians 15:35-49. His answer to this final question will lead him to the glorious conclusion of chapter 15, Verses 55-57, "Death is swallowed up in victory." 55 "O death, where is your victory? O death, where is your sting?" 56 The sting of death is sin, and the power of sin is the law. 57 But thanks be to God, who gives us the victory through our Lord Jesus Christ. But he wants to address this one last question that he poses in verse 35. **35 But someone will ask, "How are the dead raised? With what kind of body do they come?"**

Now, this is probably not a question that the Corinthians had actually posed to Paul. It is more likely that Paul is sort of anticipating this question coming up. But you need to understand that he is not framing this question as being asked with a genuine desire to understand. It would be asked by those who disagreed with him on the resurrection and did not share his belief that resurrection is even real. Of course, it would be asked based on what we all know to be true – that our bodies given enough time, naturally decay back to simply dirt. The remains get scattered in many cases. And the thought of a body coming back together after 10's or 100's or even thousands of years makes no sense to the human brain. Now even though this is truly a disingenuous question, Paul answers it by explaining what we can expect from that resurrection body. As he begins his answer, we can see how he understands the false sincerity just in the question being asked as he begins verse 36 by addressing the one asking the question as, "**You foolish person!**" This is the same word used in **Psalm 14:1 The fool says in his heart, "There is no God." They are corrupt, they do abominable deeds; there is none who does good.** And in fact in Romans 3, Paul also quotes from Psalm 14, and it is very normal for him to draw concepts from the Old Testament to address the issues he writes about. So here, he is bringing to mind the entire message of the Old Testament, especially in Psalms and Proverbs that the fool is one who has no spiritual or moral judgement, so he or she makes foolish decisions. Not believing in resurrection is a foolish decision made by someone who has no spiritual understanding.

But, Paul still provides a response to their disingenuous question by first describing our Current Body and then what we can expect in our Resurrected Body. First, he addresses **our current body** starting with verses 36-37. **36 You foolish person! What you sow does not come to life unless it dies. 37 And what you sow is not the body that is to be, but a bare kernel, perhaps of wheat or of some other grain.** It may be rather surprising how he describes our body here. He compares it to a seed. This makes sense when you understand that Paul is thinking of real life as something that starts after death rather than what comes before it. So everything about our current body is more like the seed that must be planted in order to truly start its life. Is there life within that seed? Yes, of course there is. But that life is minimal compared to the life that awaits it as a grown fruit bearing plant.

The ones asking the question that Paul poses are not even asking the right question. They have already assumed that there is no resurrection, so this life is the only life you are

given. So that means this body at its decay is at the end of its existence. And in a purely physical sense that may be true, but for all of us, this 80, 90, even 100 years we spend on earth is but a drop in the bucket of eternity that awaits us after death. And one day, however this body ends, burial, cremation, cancer, heart disease, simply giving out due to age, whatever it might be, in God's view, this is when the next stage of our perfect physical existence really begins. Because what comes next for our existence is so much better than the best most perfect experience this body here on earth ever gave us. Because God has **a Future Body** that offers an experience that is beyond anything we could hope for or imagine for ourselves.

The first thing we see about the future body is that *it is God's choice, not ours*. And that is a very good thing. Look at verse 38. **³⁸ But God gives it a body as he has chosen, and to each kind of seed its own body.** God's sovereignty, his complete authority extends to every area of our existence, from our birth, to our death and beyond. You know, I'm pretty sure that in Heaven, I want to live for eternity in the body I had when I was 23. I could do a lot of pullups, run 5 kilometers in around 20 minutes and looked great in my Marine Corps uniform, at least in my opinion. But that is the extent of what I think my perfect body should be. And the truth is that whatever we imagine to be the perfect body, the perfect existence for us to live in for all eternity cannot compare to the eternal God who knows everything about us, and has planned for us to live eternally bringing glory him. **Luke 12:7 says that "[to God] ...even the hairs of your head are all numbered..."** I would rather have my Creator who knows the ever changing number of hairs on my head design the eternal body for my existence than for him to give me my choice of bodies to live in. To many, God's sovereign choice that we know as unconditional election and predestination is an evil or at least a wrong concept to attribute to a loving God. But without God's choice of us to salvation, all of us are doomed to face hell as we come under the rightful judgement of God for our sin. But God according to **2Peter 3:9, ...not wishing that any should perish, but that all should reach repentance,** has chosen those who will be his own in order to rescue us from our sin. **Romans 8:29 says, For those whom he foreknew he also predestined to be conformed to the image of his Son, in order that he might be the firstborn among many brothers.** The amazing story of grace in God's Sovereign choice is that absolutely none of us is worthy of God's salvation. We **have all sinned and fallen short of the glory of our God as Romans 3:23** tells us, which makes us incapable of choosing to glorify God. And yet to those he has chosen, God in his grace gives the free gift of salvation through Jesus Christ who took our place as objects of God's wrath, by dying on the cross. Instead of arguing against God's sovereignty, we should live lives of thankfulness for his choosing to save us. And, we should seek to share that same message with those around us, praying that God would grant them faith and repentance, because He has chosen them as well. Here in 1Corinthians, Paul tells us that choice will extend to our resurrected body as well.

But he does give us a hint to go on about what that body may be like. He says, **"to each kind of seed its own body."** This seems to indicate that our future bodies will be similar in some ways to our physical bodies, perhaps in appearance. But whatever that means for our future bodies, although *they may be similar, they are going to be different*. Read verses 39-40. **³⁹ For not all flesh is the same, but there is one kind for humans, another for animals, another for birds, and another for fish. ⁴⁰ There are heavenly bodies and earthly bodies, but the glory of the heavenly is of one kind, and the glory of the earthly is of another.** So, clearly while there may be similarities as whatever we will become in eternity is based on the seed that is planted in this earthly life, there will be significant differences as well. Now Paul doesn't try to speculate on all of those differences. He is simply making the point here, that even in the world around us, we know that there are differences

between living creatures. Animals have flesh and blood, but they are different from humans. Fish and birds have similar types of skeletal tissue, but a fish is not a bird. So, while our Heavenly resurrected body may resemble our earthly body in some way, it will reflect God's glory in a different way than we currently reflect God's glory as the image-bearers of God here on earth.

But because both bodies come from the same creator, *the same glory lies in both*. This is the final point that Paul makes regarding our future body. Verse 41 says, **41 There is one glory of the sun, and another glory of the moon, and another glory of the stars; for star differs from star in glory.** When we think of the sun, moon and stars, we know that each of those objects in our universe have certain points of beauty or glory about each of them. The sun gives warmth and light. It is necessary to sustain plant life, which in turn adds to an environment that humans can live in. So, the sun is necessary to our life as well. The moon gives off a reflected glory, as we see it light up the night sky because of the light it reflects from the sun that is at a different point in the earth's rotation. But although, the light does not come from a source within itself, the moon is beautiful to see in all its different phases and even colors. The stars, although the same as our sun, give off an different type of beauty and glory in the clear night sky, as we see the vastness of our universe from these billion points of light coming from millions of light years away from our little earth.

The glory does not come from us, but from our creator who gave us both bodies as verse 38 points out. **Genesis 1:27 says, So God created man in his own image, in the image of God he created him; male and female he created them.** Because we are image bearers of God here on earth, these bodies as imperfect as they are reflect the glory of our Creator. So, just imagine how the glory will be in a New Heaven and New Earth when our resurrected bodies reflect the image of God without the stain of sin on those bodies! This thought of what awaits us, this vision of perfectly reflecting the image and glory of God should give us hope as we go through the pain associated with the existence we currently experience in this physical body. Jeremiah 29 talks about this **Future Hope** that sustains us. **Jeremiah 29:11 says, 11 For I know the plans I have for you, declares the Lord, plans for welfare^[a] and not for evil, to give you a future and a hope.** This verse is written to Jewish exiles who were forcibly removed from their land, their homes and taken to a foreign country. In this verse, God promises a future and hope to those subdued and even enslaved people. That is the same attitude that God continues to have towards his people today. He tells us that our relationship to this world is one of being strangers and foreigners. **1Peter 2:11 tells us, 11 Beloved, I urge you as sojourners and exiles to abstain from the passions of the flesh, which wage war against your soul.** It is this promise of future resurrection that provides us that same future and hope that God promised the people of Israel in the Old Testament. Yes, we are sojourners, temporary residents in a world that brings pain and suffering and physical weakness to this body we experience the world through. But there is hope, because there is resurrection.

Paul tells us first that there is *the hope of perfection*. Read verses 42-43. **42 So is it with the resurrection of the dead. What is sown is perishable; what is raised is imperishable. 43 It is sown in dishonor; it is raised in glory. It is sown in weakness; it is raised in power.** Our lives are characterized and even organized around imperfection. We know the natural progression of things in this world is to eventually wear out, and that includes our bodies. So, we do things like put exercise into our schedule so we can make health and fitness a part of our routine. We do preventative health checkups so we can stay on top of catching health issues before they get bigger. We get vaccinated from whatever diseases we can to prevent another sickness from being able to get the better of us. We feel the effects of

aging that happen to all of us at different stages of our lives. We know that this body is wearing out. But what gives us hope as followers of Christ is that there is a better life awaiting us. There is a better body that God will one day give us. That body will not wear out. It is not perishable. It perfectly displays God's glory in all of His perfection. And the weakness we currently experience will never again be a part of our experience.

But this is not just a physically perfect body, *it is a spiritually perfect body*. Right now, we all are not only born sinners, we have to struggle and fight against temptation to sin even after we have accepted Jesus Christ. It is true we have the Holy Spirit to strengthen us to fight that spiritual battle. But what if there was no battle? What if there was no sin nature? No struggle to do the right thing, the God honoring thing? That is the promise of our resurrected body. Verse 44 says, **44 It is sown a natural body; it is raised a spiritual body. If there is a natural body, there is also a spiritual body.** This promise of spiritual perfection is *only possible through Jesus Christ*. Continue reading verses 45-47. **45 Thus it is written, "The first man Adam became a living being";^[a] the last Adam became a life-giving spirit. 46 But it is not the spiritual that is first but the natural, and then the spiritual. 47 The first man was from the earth, a man of dust; the second man is from heaven.** To quote an old hymn, "my hope is built on nothing less than Jesus' blood and righteousness." Through Adam's sin as the first human, we inherited a sin nature. Through Jesus, the last Adam, who also represented humanity before God, we can inherit eternal life. Adam failed for all of us, but Jesus Christ lived in perfect holiness with no failure, and took Adam's penalty and all of the penalty for our sin on himself, so that through faith in him we can have hope of eternal life. His perfect spiritual life truly was the life-giving spirit.

And our future hope of a resurrected body is embodied for us in his resurrected body. Let's read verses 48-49 as we finish this passage. **48 As was the man of dust, so also are those who are of the dust, and as is the man of heaven, so also are those who are of heaven. 49 Just as we have borne the image of the man of dust, we shall^[b] also bear the image of the man of heaven.** Paul is answering this disingenuous question about what kind of body we will have in the resurrection. And the short answer to that is – the kind of body Jesus had at his resurrection. Just as we live now in the same type of ever weakening body of our ancestor Adam that will return to dust, we will one day enjoy the eternal perfect body that Jesus Christ now enjoys after His resurrection. So let this hope and vision of the God glorifying perfection that awaits you if you know Jesus Christ sustain you even as you live with the effects of this body of dust here on earth. God has a body waiting for you that is incorruptible, not able to be destroyed, glorious, powerful and perfectly spiritual, just like our Lord Jesus Christ's. Let's pray.